

<様式>

学校名	山形市立第一中学校 山形市松波三丁目1番15号 TEL:622-0121 FAX:633-9797	校長	田中 克
		研究主任	安孫子 芳
研究主題	自己を進んで表現する生徒の育成（4年次） ～発信力を育む探究的な授業づくり～		
研究主題設定の理由	<p>本校では3年前から「自己を進んで表現する生徒の育成～発信力を育む探究型授業づくり～」の研究主題のもと、校内研究を行ってきた。特に昨年度は「展開部分の工夫」に焦点を当てて研究を進めてきた。「設定した課題の解決に迫り、より深い学びを追究するために、どのような学習活動を取り入れるか」という視点を持ち、教科ごとの特性に応じて展開部分における言語活動やICT機器、思考ツール等の有効活用を検討・工夫してきた。授業の中で「発信力」が高まっていると感じる場面は多くあったものの、主体性や積極性にはまだ課題が見られた。また、授業実践を通して、生徒につけたい「発信力」がどのようなものか、より明確になってきた。例えば「他人の意見を取り入れて、自分の考えを自分の言葉で記述・発表する力」「自分の意見を（わかりやすく）（簡潔に）（根拠を示して）まとめる力」「自分の思いを独りよがりではなく、文章や資料をもとに筋道を立ててわかりやすく表現する力」等が挙げられた。そこで、自己を進んで表現するために各教科で育成を目指す資質・能力を明確にし、さらに「発信力」を高める探究的な授業づくりに取り組んでいきたいと考えた。</p>		
研究の目標	<p>本研究は、自己を進んで表現する生徒を育成することを目標とする。 そのために、自分の思いや考えをもとに、周りとの関わりの中で考察を深め、自己の学びを発信できる態度を育成する。生徒自身が主体的に学習に取り組み、発表・表現するだけにとどまらず、発信することを意識させたい。</p> <p>各教科でどのような資質・能力を育成すれば「発信力」が高まるのか。そのことを明確にした授業づくりを行っていく。また、総合的な学習の時間に探究的な学習を推進し、山形大学と連携を図りながら、STEAM教育を取り入れていく。各教科で育成した「発信力」をもとに総合的な学習での「探究」を進める一方で、総合的な学習で培った「発信力」を生かして各教科での学びを深めていき、相互の学習で「自己を進んで表現する生徒」の育成に努めたい。また、道徳科の授業の中でも対話や交流の場面を意図的に設定し、「発信力」をつける授業を展開してきた。今年度も引き続き取り組んでいきたい。</p>		

研究の仮説	<p>各教科の授業において、教科ごとの単なる知識の習得だけでなく、実生活につながるような学びの習得や教科等横断的な視点で授業づくりを行うことで、学びに「つながり」が生まれ、生徒が自分自身でもっと学びたいという意欲をもち、自己を進んで発信することができるようになると思う。</p> <p>また、各教科・領域において生徒の実態を踏まえ、「発信力」を高めるためにどのような資質・能力を育成するのかを明確にし、また、各教科、道徳、総合的な学習の時間の相互の関連を意識した授業づくりを行えば、様々な情報を活用・統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けられる資質・能力を育成することができるだろう。</p>								
研究の内容	<p>(1) 各教科における「発信力」を高める探究的な授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科の特性を生かした育成を目指す資質・能力の明確化 ・ 生徒が主体となる課題設定→展開→振り返り・まとめのサイクルを意識した単元づくり <p>主な授業づくりの視点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生徒が主体となり、多様な見方・考え方ができる課題の設定。 ② 教科特有の「見方・考え方」を働かせる活動の設定。 ③ 生徒にとって必要感があり、対話を通して考えを広げたり深めたりすることができる学び合いの場面の設定。 <p>(2) 総合的な学習の時間における探究型学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科の学びで育成した発信力を総合的な学習に活用する。また、総合的な学習で育成した発信力を各教科への学びに生かす。 ・ 山形大学と連携して STEAM 教育を取り入れる。 <p>(3) 「特別の教科 道徳」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働的な学びの基盤づくり ・ 自分の考えを基に、書いたり討論したりするなどの表現の機会の充実 								
研究の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 研究推進委員会を開催し、理論研究とスケジュールの調整を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週木曜日に推進委員会を開催する。 ・ 外部期間との調整を図る。 ・ 教育課程を調整する。 2 教科部会を通して授業改善に取り組む。 週 1 回の時間割の中に組み込み、研究主題に即し、かつ教科の本質に迫る授業構想や指導案検討等を行う。 3 校内授業研究会の実施 <table border="0" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50%;">第 1 回 校内研修会 (STEAM 教育研修会)</td> <td style="width: 50%;">令和 5 年 5 月 3 0 日 (火)</td> </tr> <tr> <td>第 2 回 校内授業研究会 (道徳)</td> <td>令和 5 年 9 月 1 3 日 (水)</td> </tr> <tr> <td>第 3 回 校内授業研究会 (数学・社会)</td> <td>令和 6 年 1 月 2 2 日 (月)</td> </tr> <tr> <td>第 4 回 校内研修会 (まとめの会)</td> <td>令和 6 年 3 月 4 日 (月)</td> </tr> </table> 4 各自の授業実践 全教員が指導案を作成して授業を実践し、校内での公開を行う。 5 校内研究のまとめ 3 月に成果と課題について考察し、次年度以降の校内研究につなげる。 	第 1 回 校内研修会 (STEAM 教育研修会)	令和 5 年 5 月 3 0 日 (火)	第 2 回 校内授業研究会 (道徳)	令和 5 年 9 月 1 3 日 (水)	第 3 回 校内授業研究会 (数学・社会)	令和 6 年 1 月 2 2 日 (月)	第 4 回 校内研修会 (まとめの会)	令和 6 年 3 月 4 日 (月)
第 1 回 校内研修会 (STEAM 教育研修会)	令和 5 年 5 月 3 0 日 (火)								
第 2 回 校内授業研究会 (道徳)	令和 5 年 9 月 1 3 日 (水)								
第 3 回 校内授業研究会 (数学・社会)	令和 6 年 1 月 2 2 日 (月)								
第 4 回 校内研修会 (まとめの会)	令和 6 年 3 月 4 日 (月)								
研	<p>校内研究の年間計画</p> <p>4 月 校内研究会の方向性について・開催時期について (検討)</p>								

究 の 計 画	5月	今年度の研究の方向性について（共通理解） 各教科の重点の作成
		第1回校内研修会（STEAM教育研修会）
	9月	第2回校内授業研究会（道徳）
	10月	市教育委員会委嘱公開授業研究会への参加
	1月	第3回校内授業研究会（数学・社会）
	2月	研究紀要締め切り
	3月	校内研究まとめの会